



第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 開催要項

1. 目的 ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。
2. 大会概要
 - (1) 大会名 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「本大会」という。）
 - (2) 日時 令和元年(2019年)9月29日(日)
午前9時30分から午後4時まで（時間は予定）
 - (3) 会場 とりぎん文化会館 梨花ホール（鳥取県鳥取市尚徳町101番地5）
 - (4) 出場 予選審査を通過した15チーム
 - (5) 内容 以下のとおり

①開会式（関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介）
②出場チーム演技（演技時間：1チーム当たり6分以上8分以内）
③ゲストパフォーマンス
④審査結果発表・表彰式
⑤講評・閉会
3. 主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
4. 共催 鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
5. 特別協賛 日本財団
6. 特別協力 一般財団法人全日本ろうあ連盟
7. 後援 内閣府、厚生労働省、文部科学省、鳥取市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、(予定) 一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM
8. 参加資格
 - (1) 令和元年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）、専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。）に在籍していること。
 - (2) 本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
 - (3) 本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率できること。
 - (4) 原則として、本大会の全日程及び本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。
9. チーム編成
1チームの編成は、同一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10

人以内とする。なお、同一校からの複数チームの参加申込みは可能とするが、本大会に出場できるのは予選審査で同一校中、最上位のチームのみとする。

10. 演技内容

- (1) 手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。なお、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。
- (2) 演技時間は、6分以上8分以内とする。なお、予選審査会においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3) 演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。
- (4) 情報保障の観点から、演技中、歌詞やセリフ等には字幕を必ず表示させること。
- (5) 舞台上での演技(音声による演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めること。
- (6) 演技の補助として、準備に時間を要しない簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める。
- (7) スクリーンに表示する内容について、字幕の他、演技のイメージを伝える画像の使用は認めるが、動画の使用は認めない。なお、著作権の発生するものについては、20(10)を参照すること。
- (8) 予選審査における撮影ルール等の取り扱いは、別途提示する。

11. 審査方法

- (1) 主催者が委嘱した審査員が審査及び採点を行う。
- (2) 審査員は、予選審査会4名、本大会6名から構成し、審査員の中から主催者が審査員長を選出する。
- (3) 予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (4) 予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

12. 参加申込み方法

- (1) 申込期間 令和元年5月20日(月)から7月5日(金)まで【必着】
※予選審査動画の提出期限は、令和元年7月19日(金)まで【必着】
- (2) 提出資料 別紙のとおり
- (3) 補足事項
 - ア (2)の書類は、13.の申込み先まで指定する方法及び期限に沿って提出すること。
 - イ 本大会における参加者の個人情報等については、別添のとおり取り扱うので、同意の上、参加申込みを行うこと。
 - ウ 予選審査用の演技動画の提出期限は、令和元年7月19日(金)までとする。まずは、(1)の期間中に参加申込みを行うこと。なお、可能な限り早期の申込みをお願いしたい。
 - エ 参加申込み及び予選審査動画は、各期限日必着とする。資料は期限日までに余裕を持って提出するよう努めること。なお、資料送付した際、その旨を大会事務局に電話連絡することが望ましい。
- (4) その他
各学校と各都道府県聴覚障害者協会(以下「協会」という。)との関わりが生まれる契機となるよう、参加申込みした旨を協会に情報提供することが望ましい。

13. 申込み先・問合せ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内。以下「事務局」とする。)

電話：0857-26-7682 FAX：0857-26-8136 Eメール：s-koushien@pref.tottori.lg.jp

14. 参加料 不要

15. 助成金

出場チーム(生徒、引率者)に、次のとおり交通費、宿泊費の一部を助成する。なお、助成申請方法等については、別途事務局が示す手続きによること。

- (1) 交通費(領収書等必要)

実費相当額を助成（1チーム当たり 250,000 円を上限とする。）

(2) 宿泊費（領収書等必要）

実費相当額を助成（1チーム当たり 85,000 円を上限とする。）

16. 表彰

表彰は次のとおりとする。

- (1) 優勝（賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。）
- (2) 準優勝（賞状、準優勝楯、メダル、副賞を授与する。）
- (3) 3 位（賞状、メダル、副賞を授与する。）
- (4) 審査員特別賞（賞状、副賞を授与する。）
- (5) 全日本ろうあ連盟賞
- (6) 日本財団賞
- (7) 鳥取県聴覚障害者協会賞
- (8) その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに賞を授与する。

17. 予選審査会

- (1) 日程 令和元年 8 月 1 日（木）及び 2 日（金）
- (2) 場所 鳥取市内
- (3) 内容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する 15 チームを選出する。
- (4) 結果 令和元年 8 月 2 日（金）に審査結果発表会を行う（公開。ライブ中継あり）。なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5) その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番及び選手宣誓を担当するチームを抽選で決定する。（本大会出場チーム発表後に、抽選を行う。）

18. 交流会

- (1) 日時 令和元年 9 月 28 日（土）
午後 6 時から午後 7 時 30 分まで（時間は予定）
- (2) 場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間（鳥取県鳥取市今町 2 丁目 153 番地）
- (3) 内容 出場チームや大会関係者等が一堂に会し、食事を交えて交流を深めるもの。
- (4) その他 参加者の交流を深める目的であることから、原則として参加すること。（参加費は不要。）

19. スケジュール

平成 31 年（2019 年）

1 月 29 日（火）	本大会の開催決定
2 月 28 日（木）	本大会の開催日及び開催要項公表
5 月 20 日（月）	参加申込み受付開始
7 月 5 日（金）	参加申込み締切
7 月 19 日（金）	予選審査動画の提出締切
8 月 1 日（木）	予選審査会
8 月 2 日（金）	予選審査会、審査結果発表（結果発表、本大会演技順及び選手宣誓チームの抽選決定）
8 月 30 日（金）	ヒアリングシートの提出（演技内容の詳細（シナリオ・楽曲等）の報告）
9 月 28 日（土）	リハーサル、交流会
9 月 29 日（日）	本大会

20. その他

- (1) 本大会前日に本大会と同会場ですべてのチームがリハーサルを実施する。なお、各チームのリハーサルのスケジュールは、会場までのアクセスや本大会の発表順等を考慮して事務局にて指定する。また、できる限りの配慮は行うが、当日の午前中からリハーサルを実施する関係で、本大会前々日から宿泊が必要となる場合もあるので、承知すること。
- (2) 受賞チームは、本大会閉会后、可能な限り報道機関等のインタビューに応じること。
- (3) 演技上のセリフや歌詞等に対応させた字幕を必ず付与すること。なお、演技の字幕は、予選審査動画

においては映像の中に、本大会においては舞台の後ろに設置するスクリーンに表示させること。また、本大会における字幕の表示はパフォーマンスの表現の一環であることから、自ら行うこと。なお、演技中は、主催者側でセリフの要約筆記等を行わない。

- (4) 演技で使用する小道具及び会場にない設備（特殊な照明や音響等）を使用する場合（準備が1分以内に完了できるものに限る。）は、原則として各チームにおいて用意すること。なお、これらの使用については、本大会前に舞台監督と詳細を打ち合わせすること。
- (5) 舞台上の演技者が演技の主体となるように構成すること。なお、演技者とスクリーン映像の視聴は両立しないことを前提に、あくまで演技者に観客の目を向けさせるような構成に努めるとともに、スクリーンの使用は字幕の表示を中心に、画像の使用を必要最小限とすることが望ましい。
- (6) 歌唱を行う際は、発話が困難な場合を除き、CD音源や事前収録した音源を歌唱に利用する（いわゆる口パクやかぶせ）のではなく、是非、自ら発声する方法で本番（予選審査を含む。）に挑戦してほしい。なお、CD音源や事前収録した音源の歌唱利用を禁止するわけではないので、申し添えておく。
- (7) 本大会の演技は、後日、手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル(YouTube)上に、全て公開する。
- (8) 本大会において演技中にCD音源を使用する場合、インターネット(YouTube)上での配信について著作権者の許可が得られないものについては、CD音源部分の音声（歌唱やセリフ等）を消去した上で本大会当日のライブ映像及び後日公開する映像を配信する。なお、各チーム等が作成した音源（ピアノやブラスバンド伴奏、生徒の合唱等。CD音源が含まれないもの。）については、著作権及びYouTube上、音声を消去する必要がない（ただし、音源の作成者の了解が得られたものに限る。）ことから、その音源も含めてライブ映像等を配信することができる。
- (9) 演技時に自校の完全なオリジナル作品ではない著作物を引用等する場合（シナリオや美術道具、ダンス等）は、会場での上演や、本大会当日のライブ配信、大会後の演技映像の公開にあたって、著作権を侵害することのないよう自校において事前に対処しておくこと。なお、音楽については(8)のとおりだが、楽曲の改変（歌詞を変えたり、編曲するなど）に該当する場合は、著作権者の許可が必要となるため、留意すること。
- (10) 演技中、著作権が発生する画像等をスクリーンに表示させたい場合は、著作権を侵害することのないよう自チームにて会場、ライブ配信及び大会後の公開映像での当該画像等の使用について、全て著作権者の許可を得ること。なお、このことから、可能であれば自チームで制作した著作権の発生しない画像等を使用することが望ましい。
- (11) 高校生による手話言語の祭典であるという観点から、演技時だけではなく、演技後のインタビュー時の応答や、交流会での各チームの発表、その他様々な発表の機会や交流の場面においても、各自ができる範囲で（少しでもいいし、間違ってもいいので、）是非、積極的に手話言語の使用に挑戦してほしい。
- (12) 本大会出場にあたっては、出場チームが確実に宿泊できるよう宿泊先の斡旋を行う予定。（利用は任意）
- (13) 引率代表者は、事務局との連絡調整を担当すること。なお、主に電子メールにて頻繁に連絡等を行うこととなるため、参加申込み後は小まめに電子メールの受信を確認するよう努めること。
- (14) 本大会出場チームには、予選審査結果発表後に各種資料等の提出をお願いすることとなる。この時期が夏休み及びお盆期間と重なるので、引率代表者は事務局及びチーム内の円滑な連絡調整ができるよう留意すること。
- (15) 予選参加申込み及び本大会出場に係る事務局への提出物は、返却しない。

(別添)

個人情報、肖像権及び著作権の取扱いについて

手話パフォーマンス甲子園実行委員会（以下「主催者」という。）は、「第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」（以下「大会」という。）への参加における個人情報、肖像権及び著作権について、以下のとおり取り扱うこととします。

1. 個人情報

- (1) 大会公式プログラムに氏名、所属校、学年を掲載します。
- (2) 大会の会場でアナウンス、スクリーン等により氏名、所属校、学年を紹介することがあります。
- (3) 手話パフォーマンス甲子園公式サイト（Facebook、twitter、LINE、YouTubeを含む。以下「公式サイト」という。）及び大会報告書、PR動画等の主催者の制作物に氏名、所属校、学年を掲載することがあります。
- (4) 大会関係者、報道機関、後援団体、協力機関等に氏名、所属校、学年を情報提供することがあります。
- (5) (2)から(4)までに記載した方法により、大会結果（チーム成績を含む。）とともに参加者の氏名、所属校、学年を公表することがあります。
- (6) 参加者から提供されたすべての個人情報は、大会出場に係る連絡及び通知、大会に関する統計（個人を特定できない範囲での利用とする。）等、大会に関する目的で使用することがあります。

2. 肖像権及び著作権

- (1) 大会プログラム及び公式サイトに参加者から提供された写真を掲載します。
- (2) 1の(2)から(4)までに記載した方法により、参加者から提供された写真を公表することがあります。
- (3) 予選審査動画を公表、編集及び改変することがあります。
- (4) 主催者、報道機関、後援団体、協力機関等により撮影された参加者の映像が、中継、放送及びインターネット配信により公開されることがあります。また、当該映像がDVD等に編集され、配布されることがあります。
- (5) 主催者、報道機関、後援団体、協力機関等により撮影された参加者の写真（電子データを含む。）が公式サイト、新聞、雑誌、大会報告書等の印刷物及びインターネット等に掲載されることがあります。
- (6) 主催者が撮影した映像若しくは写真又は予選審査動画を大会関係者、報道機関、後援団体、協力機関等に提供することがあります。
- (7) その他、主催者に許可を受けた者によって撮影された映像及び写真が公開されることがあります。
- (8) 主催者が撮影した映像及び写真の著作権は主催者に帰属するものとし、当該映像及び写真の利用及びこれに伴う編集、改変についての異議申し立て等は受け付けません。

3. 主催者としての対応

主催者が取得した参加者の個人情報は、上記利用目的以外に使用することはありません。ただし、主催者は、お預かりした個人情報を取り扱う業務の一部または全部を外部に委託することがあります。

[別 紙]

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園参加申込みに係る提出書類について

第6回大会の参加申込みにあたっては、2回に分けて郵送、持参等により関係書類等を提出してください。

(1) [7月5日(金)まで] ①予選参加申込書、②校長承認及び推薦書の提出 (いずれも紙面で提出)

(2) [7月19日(金)まで] ⑦予選審査動画等の提出 (以下の③・④・⑤・⑥・⑦)

※ 電子データは、光ディスクやフラッシュメモリなどの記録媒体に保存等して提出してください。

※ 電子データで提出する様式のうち、③・④・⑤・⑥については、それぞれ印刷した紙面も提出してください。

提出物	様式	提出期限	提出	補足事項
①予選参加申込書	様式第1号	7月5日(金)	紙面	<ul style="list-style-type: none"> 引率代表者が押印(私印)の上、提出してください。 申込者は、引率代表者としてください。なお、引率代表者の方に事務局と連絡調整を行っていただきます。 複数の学校により合同チームを結成する場合は、全ての学校名(正式名)を記載してください。 事務局が公表するチーム名は学校名とします。なお、この場合、〇〇県立△△高等学校(公立)、学校法人□□学園◇◇高等学校(私立)の「〇〇県立」や「学校法人□□学園」の記載は省略し、学校名のみ表記します。
②校長承認及び推薦書	様式第2号	7月5日(金)	紙面	<ul style="list-style-type: none"> 校長印を押印の上、提出してください。なお、原則として校長印は公印としてください。ただし、以下のケースで公印が遠方にある等、やむを得ない事情がある場合は、校長の私印でも可とします。 本校とは別に分校やキャンパスがあり、分校やキャンパスとして参加申込みを行う場合は、その分校やキャンパスの長の承認及び推薦でも可とします。
③予選参加者名簿	様式第3号 (Excel)	7月19日(金)	電子データ 及び紙面	<ul style="list-style-type: none"> 校長の推薦が得られた生徒を参加させてください。 予選参加者は、原則として、本大会に参加できる生徒・引率者としてください。
④チーム紹介文	様式第4号 (Word)	7月19日(金)	電子データ 及び紙面	<ul style="list-style-type: none"> 100文字以内でチーム紹介を行ってください。 高校生らしい元気で明るいメッセージを寄せてください。 大会公式HPに掲載します。(予選参加チームの紹介)
⑤チーム集合写真	JPEG形式 (カラー)	7月19日(金)	電子データ 及び紙面	<ul style="list-style-type: none"> 横640×縦480ピクセル以上の解像度、フルカラー。 参加者名簿に掲載されている生徒が全員写っている写真としてください。 ④と併せて公式HP上にチーム写真を掲載(公開)しますので、同意の上、提出してください。なお、チーム写真の公式HPへの掲載を望まない場合は、個別に対応を検討しますので、事務局までその旨をお伝えください。
⑥演技情報	様式第5号	7月19日(金)	電子データ 及び紙面	<ul style="list-style-type: none"> 提出する予選審査動画の演技情報を記載してください。 審査員が審査にあたって参考とする情報となります。
⑦予選審査動画 (演技)	—	7月19日(金)	電子データ	<ul style="list-style-type: none"> 撮影方法等の詳細は、別添の「第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査動画撮影要領」をご確認ください。なお、同要領に定められたルールのとおり撮影されていない場合、失格又は減点となる可能性がありますので、ご注意ください。 提出を受けた映像により、予選審査を行います。

【参加申込み・お問合せ先】手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

住所：〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)

電話：0857-26-7682 , ファクシミリ：0857-26-8136 , メールアドレス：s-koushien@pref.tottori.lg.jp

※ 参加申込みや動画の撮影にあたってご不明な点がございましたら、上記までお気軽にご連絡ください。

※ 全国から、多くの高校生の参加申込みをお待ちしています。

本大会への出場にあたって必要となる提出物（予定）

8月2日(金)の予選審査結果発表後、本大会の出場を勝ち取ったチームには、以下の書類等を提出していただくよう予定しています。

特に、夏休みやお盆期間と重なることから、毎年、事務局と連絡調整をご担当いただく引率代表者の方やチーム内で連絡がとれない、提出物が作成できないという事態が生じているため、予定されている提出物の内容を予め提示するものです。

予選参加申込みチームの皆様におかれましては、ぜひ、事前に心構えをしていただくとともに、できる限り夏休みに入るまでに可能な準備を行い、8月中であっても生徒や教師、事務担当者等の関係者と円滑な連絡調整が行うことができるよう十分に御留意ください。

なお、本大会出場決定後、本大会出場まであまり時間がなく、指定提出物の作成を含め、非常にきつい（タイトな）スケジュールで本大会の準備が進むこととなります。ご理解・ご協力の程、何卒よろしくをお願いします。

【予定されている提出物の例】

提出物	内 容	提出時期
チーム行動スケジュール	利用する交通手段（行き・帰り）、鳥取県に到着する時間又は大会終了後の鳥取県を出発する時間、具体的な旅程、宿泊日及び宿泊先 など	8月中旬（お盆明け）
参加者名簿	様式第3号に類似。最新情報に更新。大会プログラムに掲載予定。	8月下旬
チーム紹介文	様式第4号に類似。最新情報に更新。様式第4号に対して、指定文字数が増加する予定。大会プログラムに掲載予定。	8月下旬
チーム集合写真	修正の希望がある場合。大会プログラムに掲載予定。	8月下旬
演技情報	様式第5号に類似。本大会の演技内容に基づくもの。	8月下旬
個人情報等取扱同意書	個人情報、肖像権、著作権の取扱いに係る同意書。生徒及び保護者の自署又は押印が必要。	8月下旬
ヒアリングシート	演目内容（構成・曲順・時間割等）、スクリーンや音源の使用データの確認、使用機材等、ステージ配置図、チーム要望、舞台監督との具体的な連絡調整の担当者、リハーサル内容 など	8月下旬
チーム紹介映像	本大会の発表時に冒頭でチームを紹介するために使用する映像（20秒程度を予定）。音声又は手話のセリフには必ず字幕を表示させること。地域や学校の名所で撮影するなど、地域や自校の特色を積極的に打ち出してほしい。	9月上旬
本大会演技の映像	本大会当日に目の不自由な方への「音声ガイド」作成のため、本大会と同じ演技内容を撮影した映像（字幕不要）	9月中旬
その他	・自校ののぼり旗（大会会場掲示用。任意。） ・学校紹介パンフレット（既存のもの）	9月上旬

○ 上記はあくまで作成時点の予定です。提出物の内容が変わる場合や、その他に提出を求める場合がありますので、ご了承ください。

○ なお、具体的には、本大会出場チーム決定後、それぞれのチームの引率代表者へご案内します。

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園参加申込書

年 月 日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 様

学校名等：

氏 名： 印

本書のとおり第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に参加申込みをします。

【参加学校の情報】

学校名（正式名）	ふりがな	住所
		〒 —
		〒 —
		〒 —
		〒 —
		〒 —

※ 複数の学校で参加する場合は、全ての学校を記入してください。

※ 同一校から複数のチームが参加申込する場合は、それぞれのチームの参加申込書を提出してください。

※ なお、大会にて使用（発表）する学校名は、公立学校の場合は〇〇県立、私立学校の場合は◇◇学校法人等の表記を省略します。

(次ページに続く)

【引率者（チーム代表者）の情報】

ふりがな	
学校名（正式名）	
ふりがな	
氏 名	
所属等 （学校名、役職、 部（サークル名）及びその役職等）	
電話番号	
メールアドレス	

※ 原則として、引率の代表者を申込者としてください。また、申込者の方に事務局と連絡調整をしていただくことになります。

※ 電話番号及びメールアドレスは、最も連絡を取ることができる番号等（学校の代表電話ではなく、直通の電話番号が望ましい。）を記載してください。なお、複数校による合同チームの場合で、チーム代表者だけでなく、各学校の担当者への連絡も希望する場合は、当該連絡先も記載してください。

【チームの情報】

参加予定人数	生徒	人
	引率	人
（備 考）	<p>※ 参加人数は現時点の予定で構いません。（変更可能）</p> <p>※ 複数校による合同チームの場合、学校ごとに参加予定人数が分かるように上のスペースに補記してください。</p>	
演技の分類（予定）	<p>※ 様式第5号の①を参照に、現時点で予定している演技内容の分類を記載してください。（変更可能）（例：歌唱・ダンス など）</p>	
過去の本大会出場実績	<p style="text-align: center;">有 ・ 無</p> <p>※ 第1回大会から、本大会（本選）出場実績の有無について、該当する方に○を記載してください。</p> <p>※ なお、複数校による合同チームの場合、本大会に出場実績のある学校がいる場合は、「有」に○をしてください。</p>	

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園承認及び推薦書

年 月 日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 様

学校名：

所在地：

校長名：

印

本校の生徒が「第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」（以下「大会」という。）へ参加することを承認するとともに、別途提出する予選参加者名簿に記載している本校の生徒を大会の参加者として推薦します。

- ※ 複数の学校による合同チームの場合は、全ての校長について提出してください。
- ※ 校長印（原則公印）を押印して提出してください。

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選参加者名簿

【参加者の概要】

参加 学校数	参加者数	参加者の内訳(人)			
		生徒	男	女	引率
	0	0			

↑ 男・女(生徒)及び引率者の人数を入力。

演技を行う担当か、
演技の補助を行う生徒
かの種別を選択し
てください。

演技の補助を行う生徒は、その内容を記載してください。
また、配慮すべき障がい等がある場合は、その内容を記載してください。なお、記載を望まない場合は、記載は任意とします。
その他、必要な補足情報を記載してください。

【参加者一覧】

生徒、 引率	No.	学校名	氏名		ふりがな		学年	性別	演技担当 補助担当	備考
			姓	名	姓	名				
生徒										
引率										

※1 参加する生徒は、全て校長の推薦が得られた生徒としてください。
 ※2 予選参加者は、原則として、本大会に参加できる生徒としてください。
 ※3 演技の補助を担当する生徒については、備考欄にその役割を分かりやすく記載してください。
 (例:障がいのある生徒の介助者、字幕表示担当、キュー出し担当、舞台操作担当、照明担当、音響担当 など)

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 チーム紹介文

1 0 0 文 字 以 内

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査演技情報

【回答者情報】

学校名	
氏名	
連絡先	() -
メールアドレス	

【演技内容】

①	演技の分類 (該当する項目に○) ※ 複数選択可	歌唱	ダンス	演劇	ポエム	コント	落語	
		漫才	その他 []					
②	演技タイトル							
③	演技のコンセプト (300文字以内) 【文字数: 文字】 ※ 入力した文字数を上に記載してください。 ※ 改行はしないこと。							
④	動画ファイルの再生時間 (3:00分以内) 分 秒							
⑤	使用楽曲	①	歌手名	使用音源				
			曲名	□CD音源 □自チーム制作 □当日演奏予定 □その他()				
		②	歌手名	使用音源				
			曲名	□CD音源 □自チーム制作 □当日演奏予定 □その他()				
		③	歌手名	使用音源				
			曲名	□CD音源 □自チーム制作 □当日演奏予定 □その他()				
⑥	使用予定機材等							

【補足事項】

①演技の分類	該当する分類に「○」を入力してください。なお、例示している分類に当てはまらない場合は「その他」を選び、具体的な分類を端的に入力してください。
②演技タイトル	演技の内容を分かりやすく表現するため、演技タイトルを端的に表現してください。
③演技のコンセプト	審査員が審査を行うのにあたり、演技の意図をより深く理解するために記載していただくものです。
④再生時間	動画ファイルの再生時間を3:00分以内としてください。 ※ イン트로でのチーム紹介や終了後の余韻時間も含め、全て演技時間に含めます。 ※ 再生時間が3:00分を超える動画ファイルは、演技時間の超過となり減点となりますので、ご注意ください。
⑤使用楽曲	演技に音楽を使用する場合、その音源を記載してください。(該当する項目を■にしてください。) なお、「自チーム制作」とは、CD音源を一切使用せず、自チームで演奏や歌唱を収録した音源を使用することをいいます(楽曲の改変(歌詞を変更したり、編曲するなど)する場合は、著作権者の許可が必要になります)。なお、いずれにも該当しない場合は、「その他」を選択し、その具体的内容を()の中に記載してください。
⑥使用予定機材	準備に時間を要しない簡単な小道具等のみ使用可能です。本大会で使用を予定している小道具等があれば記載してください。 なお、設置に1分以上を要するような大道具や機材等は認められませんので、ご注意ください。 また、会場にない設備等を使用したい場合は、原則として自チームで準備してください。 (設置に時間を要しないものに限る。) ※ 詳細は、本大会前に舞台監督と打ち合わせをしていただくことになります。



第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査動画撮影要領

【動画映像のイメージ】



《撮影ルール》

- 平成31年4月1日以降に撮影されたもので、再生時間を3:00分以内の動画とすること。
 - ※ 提出する動画ファイル自体の長さを3:00分以内とすること。
(演技前の余韻や紹介、演技後の余韻時間等があれば、それらも全て含めて3:00分以内とすること。)
 - ※ ルールに沿った撮影とするため、予選審査専用撮影が望ましい。
- フルカラーの撮影とすること。(モノクロやセピア色、1色は不可)
- 画面は、横縦比を16:9とすること。(4:3ではない)
- 画面上の演技者の配置や字幕の表示スペース・方法は、上の「動画映像のイメージ」のとおりとすること。
- 演技者及び演技者の表情、手話がよく見えるよう演技者の大きさ及び明度を確保すること。
- 演技者の全てのセリフや歌詞に対応する字幕を入れること。
 - 字幕は一定のタイミングで固定表示とし、演技者に重ならないようにすること。
- 演技者の全身を表示させること。なお、例外的に、動きがなく前後の列となる場合の後列の演技者や着席している場合は、その該当者に限っては少なくとも上半身(腰より上)を表示させることも認めるが、その場合であっても、なるべく全身を表示させるよう務めること。
- 演技者の正面でカメラを固定して撮影すること。演技中、ズームやワイド等の倍率の変更及びカメラを移動させて撮影することは不可とする。
- 予選審査においては、背景による演出は認めない。ただし、演技の構成上、映像や写真等が必要な場合にスクリーン等を使用することは認める。
(例: 観光地の紹介に写真を投影する、パワーポイントの説明をする 等)
- 動画のファイル形式はAVI、MPEG、MP4、WMV のいずれかとし、解像度は720px × 480px 以上、1920px × 1080px 以内とすること。
- フレームレートは、60(59.94)fps又は30(29.97)fpsとすること。

【字幕の補足事項】

- ・字幕は、概ね下から縦1/6以下、横は左右1/8以上を空けたスペースに表示させること。
- ・見やすい大きな文字とすること。
- ・フォントはゴシック体、色は白文字を基本とすること。(ただし、背景が白い場合、枠が黒い白抜き文字か、灰色等の背景と同色ではない見やすい文字色とすること。)
- ・セリフ(歌)のタイミングに対応させた字幕(歌詞)を表示させること。なお、タイミングに合わせるため、字幕が2行となっても構わないこととする。
- ・字幕は停止(固定)表示とし、セリフのタイミングに合わせて、一定時間、表示させること。
- ・演技者に重ならないように字幕を表示させること。



《撮影の見本》

- 正面にカメラを固定して撮影してください。（ズームやワイドは不可。）
- 演技者全員の全身を表示させましょう！
 - ⇒ 舞台上で演技している生徒を、観客席からカメラを通して見ているようなイメージで撮影してください。
 - ⇒ 特に、動きの中で生徒の足が切れてしまうケースがみられます。演技中は常時、全員の生徒の全身が映るようご注意ください。なお、全身が映るためにはどこまでカメラに近づけるか事前に確認し、その限度にラインを引いて、演技中にそのラインを超えないよう指示をして、撮影するようにすればよいでしょう。
- 手話が見やすいようできる限り人物を大きく撮影してください。
- 手話表現は、表情もとても大切な要素です。演技者の表情がよく分かるようにしましょう！
 - ⇒ 演出上の目的以外で、マスク等を着用することはやめましょう！
- 字幕は、演技者に重ならないように表示させてください。

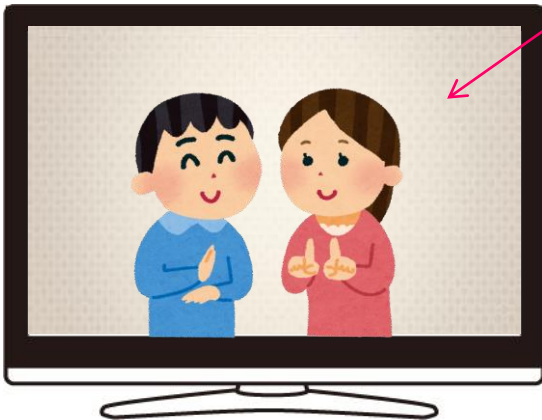
イラストでは白いスペースと なっていますが、撮影にあたっては、（あえて白いスペースを作る必要はなく）背景上にそのまま字幕を表示して構いません。



✕ 全身を表示させましょう！

悪い例：上半身しか表示されていません。

※ 演技開始から終了まで、常時全員の全身が映るようにしましょう！



《動画の提出》

- 制作した予選審査動画は、記録媒体に保存等により、提出してください。
- 提出期限は、7月19日(金)です。[必着]

撮影方法や字幕の入れ方、その他ご不明な点がありましたら、以下までお気軽にお問合せください！

【問合せ先】大会実行委員会事務局

電話：0857-26-7682

ファクシミリ：0857-26-8136

メールアドレス：s-koushien@pref.tottori.lg.jp

